

# 株式会社 西田組

## 令和3年度環境活動レポート

(対象期間：令和3年6月～令和4年5月)



作成日：令和4年9月

# I 環境経営方針

## <環境理念>

株式会社西田組は、地域から選ばれる企業である為に、建設業（主に解体工事業）及び産業廃棄物処理業等の事業活動を通して地域の発展に取り組んでまいります。

経営の中に環境保全を明確に位置付け、課題とチャンスをつまみながら環境負荷低減の為に活動を継続し続けます。

## <環境保全への行動指針>

1. 二酸化炭素の排出削減の推進
2. 産業廃棄物及び建設副産物のリサイクルの推進
3. 水使用量の削減
4. 環境関連法の遵守
5. 環境経営の課題とチャンスへの取り組みを推進
  - ①環境に優しい設計・施工方法の継続的改善
  - ②顧客の安心と満足を満たす環境に配慮したサービスの提供
6. 環境経営システムの継続的改善

制定日：平成27年 9月 1日

改訂日：令和 2年 8月15日

改訂日：令和 2年10月15日

代表取締役社長 西田 文仁

## II 組織の概要

### 1. 名称及び代表者名

株式会社 西田組  
代表取締役社長 西田文仁

### 2. 設立

昭和47年1月13日

### 3. 所在地

本社 青森市大字荒川字柴田102番地1  
桐ノ沢処理センター 青森市大字駒込字桐ノ沢158番

### 4. 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者	環境部	千葉 康貴	TEL 017-741-1915
担当者	総務部	黒滝 卓也	TEL 017-739-2025

### 5. 事業活動の内容

土木一式工事業・建築一式工事業・とび・土工・コンクリート工事業・舗装工事業・  
しゅんせつ工事業・造園工事業・水道施設工事業・塗装工事業・  
内装仕上工事業・熱絶縁工事業・鋼構造物工事業・解体工事業  
産業廃棄物収集運搬及び中間処理業・特別産業廃棄物収集運搬業  
重機類の運転手付き貸付・古物商

### 6. 事業規模

資本金 5,000万円  
売上高 37億3,503万円  
従業員 137人

### 7. 対象範囲(認証・登録範囲)

本社・建設現場  
桐ノ沢処理センター

### 8. 事業年度

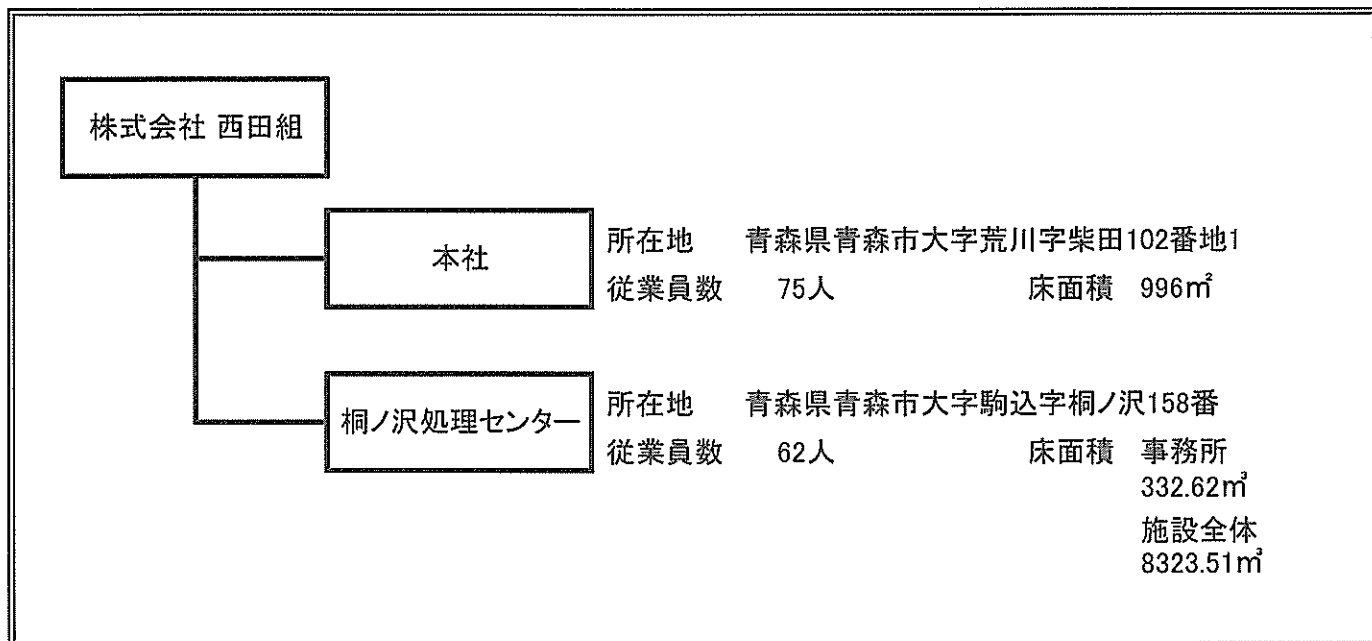
令和3年6月～令和4年5月

### 9. 環境活動レポートの対象期間

令和3年6月～令和4年5月

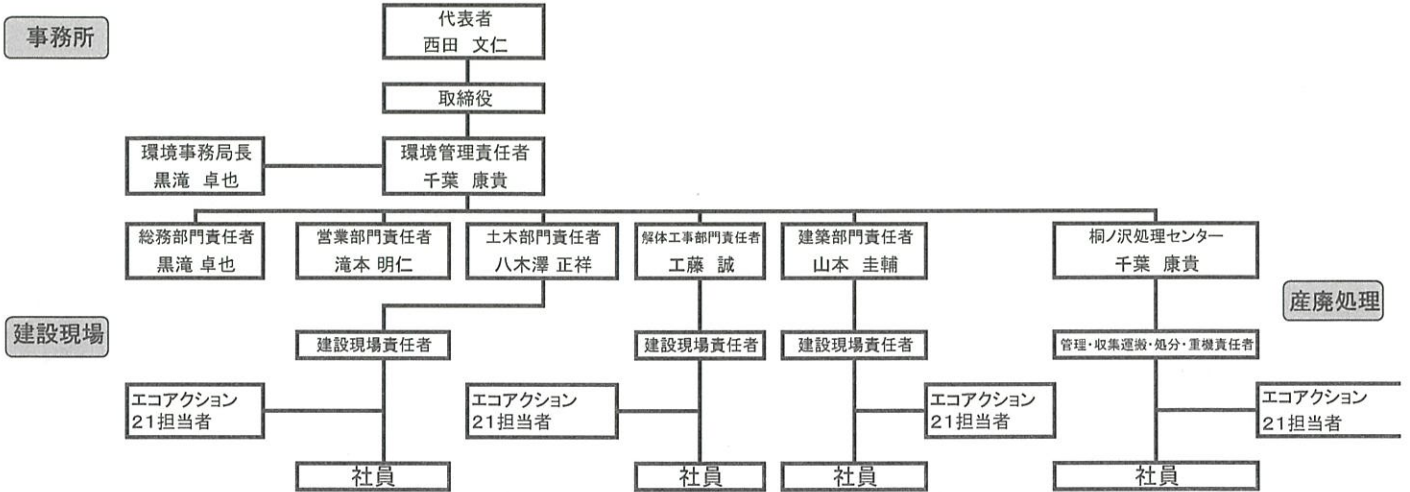
# 株式会社 西田組 組織図

令和4年5月31日現在



# EA21実施体制図

株式会社 西田組



環境経営システム 役割・責任・権限表

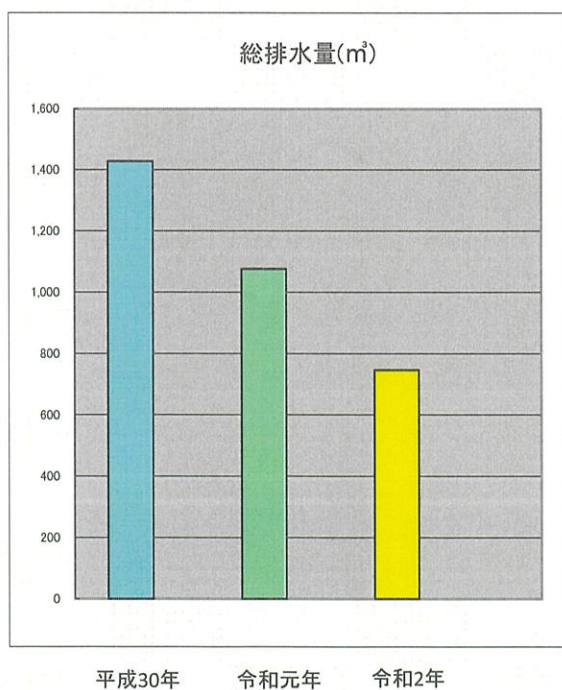
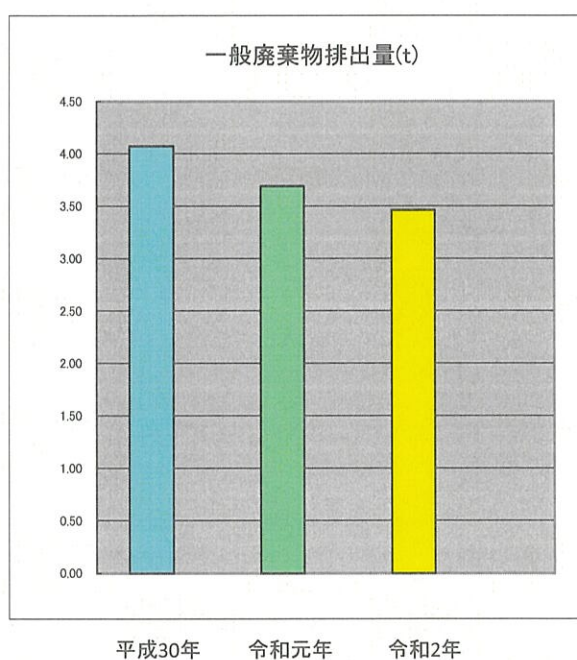
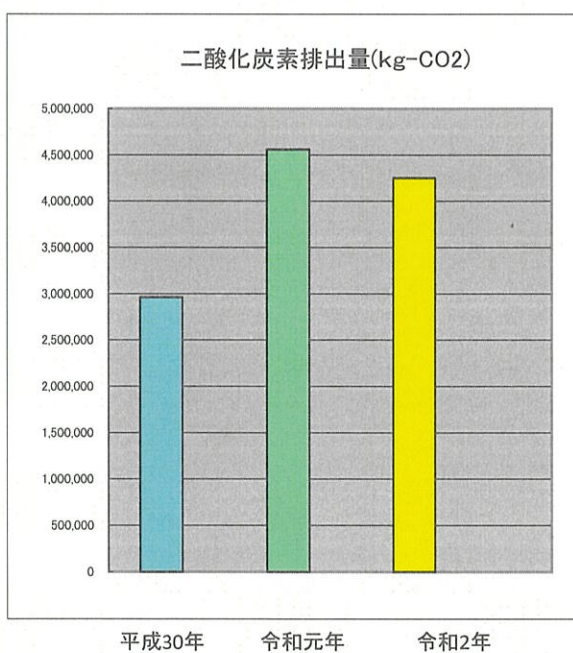
	役割・責任・権限
<b>代表者(社長)</b> 代表取締役社長 西田 文仁	①環境経営に関する統括責任 ②環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ③環境管理責任者の任命など実施体制の構築 ④代表者による全体の評価と見直しを実施 ⑤環境経営方針の作成 ⑥経営における課題とチャンスの明確化
<b>環境管理責任者</b> 環境部 環境課長 千葉 康貴	①環境経営システムの構築、実施、管理 ②問題点の是正措置、予防処置の指示・確認 ③代表者への実績報告
<b>環境事務局</b> 総務部 黒滝 卓也	①環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ②環境目標、環境活動計画書原案の作成 ③環境活動チェック表等の実績集計 ④環境関連の外部コミュニケーションの窓口
<b>部門責任者及び現場責任者</b> 総務部長 黒滝 卓也 営業部顧問 滝本 明仁 土木部長 八木澤 正祥 解体工事部長 工藤 誠 建築部長 山本 圭輔 環境部 重機課長 小笠原 雅人 環境部 環境課長 千葉 康貴	①所轄事項について環境システムを実施し、維持する ②環境方針の部内への周知 ③教育訓練の実施 ④環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ⑤緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練の実施、記録の作成 ⑥問題点の発見、是正、予防処置の実施
<b>全従業員</b>	①環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

### Ⅲ 環境目標とその実績

#### 1. 主な環境負荷の実績

表1 主な環境負荷等の実績

項目	単位	令和元年度 (6～5月)	令和2年度 (6～5月)	令和3年度 (6～5月)
二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	2,961,088	4,556,155	4,251,074
二酸化炭素排出係数(電力)	kg-CO2/Kwh	0.523	0.521	0.521
一般廃棄物排出量	t/年	4.07	3.69	3.46
水使用量(水資源投入量)	m3/年	1,427	1,075	746





### Ⅲ 環境経営目標とその実績

#### 2. 環境目標の設定

当社では、2018年度を基準年度として中長期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおりを設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

基準年度(2018年度)比の削減(増加)率(%)

項目	基準年度	2019年度		2020年度		2021年度		
	2018年度	目標	目標値	目標	目標値	目標	目標値	
電力の消費量 (kwh/年)	2,265,267	1%削減	2,242,614	2%削減	2,219,962	3%削減	2,197,309	
ガソリンの消費量 (ℓ/年)	100,252	1%削減	99,249	2%削減	98,247	3%削減	97,244	
軽油の消費量 (ℓ/年)	759,513	1%削減	751,918	2%削減	744,323	3%削減	736,728	
灯油の消費量 (ℓ/年)	40,755	1%削減	40,347	2%削減	39,940	3%削減	39,532	
LPGの消費量 (kg/年)	124	1%削減	123	2%削減	122	3%削減	120	
二酸化炭素合計 (kg-CO2/年)	3,512,644	1%削減	3,477,518	2%削減	3,442,391	3%削減	3,407,265	
一般廃棄物 (kg/年)	4,073	1%削減	4,032	2%削減	3,992	3%削減	3,951	
産業廃棄物 【再資源化率】(%/年)	100	—	100	—	100	—	100	
水使用量【節水】 (m <sup>3</sup> /年)	1,162	1%削減	1,150	2%削減	1,139	3%削減	1,127	
自らが施工・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	【グリーン購入】(品目/年)	1,021	1%増加	1,031	2%増加	1,041	3%増加	1,052
	環境配慮施工	建設現場等において環境に配慮した施工や作業の推進に努める。						
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮及びサービスの改善	【再資源化】(t/年)	3,323	1%増加	3,356	2%増加	3,389	3%増加	3,423
	環境に配慮した業務推進	産業廃棄物の収集運搬・処分において環境に配慮した作業の推進に努める。						
地域貢献	1	—	1	—	1	—	1	

## IV 環境経営計画

活動項目	取組内容	担当部署	実施スケジュール	備考	
二酸化炭素排出量の削減	①社内の照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯する	本社	通年		
	②夜間、休日は、パソコン・プリンター等の主電源を切る		通年		
	③使用していない部屋の空調は停止する		通年		
	④エコドライブ等運転方法を励行する		通年		
	⑤長時間のアイドリングをやめるように周知徹底させる		通年		
	⑥道路情報の確認し、余裕を持って出発		通年		
	⑦ドライブレコーダーの取り付けによる監視		通年		
	現場	①低燃費型重機の利用	建設現場、桐ノ沢処理センター	通年	
		②重機運転前運転後の点検実施		通年	
		③重機等の省燃費運転の実施		通年	
		④重機等のアイドリングストップ		通年	
		⑤過積載の防止の教育、監視		通年	
		⑥車間距離を取り、ゆっくり発信、ゆっくり停止を励行		通年	
		⑦焼却施設更新による熱効率の上昇		通年	
廃棄物の削減	一般廃棄物	本社、桐ノ沢処理センター	①裏紙使用によるコピー用紙の使用量削減	通年	
			②電子媒体による帳票の閲覧又は周知	通年	
			③紙類は全てシュレッダーにかけ、再資源化を図る	通年	
			④水切りによる生ごみの減量化	通年	
	産業廃棄物	建設現場、桐ノ沢処理センター	①リサイクル率の向上	通年	
			②マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理の徹底	通年	
			③建設廃棄物の分別徹底	通年	
			④3R・建設発生材の再資源化の推進	通年	
			⑤廃棄物発生量把握と削減目標の設定(維持管理)	通年	
水使用量の削減等	本社、建設現場、桐ノ沢処理センター	①手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行	通年		
		②洗車する場合は、泥等を落としてから行う	通年		
		③社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行している	通年		
		④洗車ホースのストップバルブの利用	通年		
		⑤井戸水の有効利用	通年		
化学物質使用量の抑制及び管理	建設現場、桐ノ沢処理センター	①塗料等の使用量の把握	通年		
		②SDSによるPRTR物質の把握	通年		
		③建設現場等における保管は、原則行わない	通年		
		④漏洩防止対策の徹底	通年		



自らが施工・販売・提供する製品、設備、土木建築物等の環境性能の向上及びサービスの改善	①グリーン購入の推進	建設現場	通年	
	②再生材(再生砕石)の使用		通年	
	③低燃費・低音性能に優れた重機の使用		通年	
	④稼働効率の改善、待機時間の確認・見直し、		通年	
	⑤騒音・振動など環境に配慮した施工・作業		通年	
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮に関する項目	①産業廃棄物のリサイクル化を促進	桐ノ沢処理センター	通年	
	②収集運搬車両の購入際、排ガスのレベル、燃費、リサイクル素材使用などを考慮している		通年	
	③迅速な収集・運搬の徹底、効率的なルート選定		通年	
	④廃棄物の飛散防止・流出防止など環境に配慮した施設管理		通年	
	⑤処分施設、車両基地、収集運搬車両等の清潔保持		通年	
地域貢献	①駒込川のボランティア清掃を行う	本社、建設現場、桐ノ沢処理センター	年1回以上	
	②地域道路清掃などボランティア活動に参加する		年1回以上	
	③環境美化運動の実施		年1回以上	
	④ねぶた祭りへの積極的参加		開催時	
	⑤地域イベント行事への協賛・交流		開催時	

課題とチャンス

環境に優しい設計・施工方法の継続的改善	①電子データ化の推進	全社		
	②CPDS認定講習の活用など従業員教育の充実			
③施工方法等を見直しのため、環境配慮施工に係る情報収集を行う				
④ICT建設施工の導入準備				
顧客の安心と満足を満たす環境に配慮したサービスの提供	①廃棄物処理に関わる法令など顧客への情報提供を行う			
	②見学会受入れ・建設現場における住民説明等を実施			
	③環境に配慮した重機稼働時間の設定及び低音性重機の使用			

## V. 環境経営目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、令和2年6月から令和3年5月までの実績についての評価結果を報告いたします。

表3 当該年度の環境経営目標の達成状況等

項目	単位	基準年度 2018年度 (6~5月)	当該年度(2021年6月~2022年5月)			環境目標の 達成状況	
			削減(増 加)率(%)	目標値	実績値		
電力の消費量	kwh/年	2,265,267	-3%	2,197,309	1,530,579	○	
ガソリンの消費量	ℓ/年	100,252	-3%	97,244	93,357	○	
軽油の消費量	ℓ/年	759,513	-3%	736,728	1,193,434	×	
灯油の消費量	ℓ/年	40,755	-3%	39,532	41,998	×	
LPGの消費量	kg/年	124	-3%	120	89	○	
二酸化炭素合計	kg-CO2/年	3,512,644	-3%	3,407,265	4,251,074	×	
一般廃棄物	kg/年	4,073	-3%	3,951	3,467	○	
産業廃棄物(再資源化率)	%/年	100	—	100	89.5	×	
水使用量(節水)	m <sup>3</sup> /年	1,162	-3%	1,127	746	○	
自らが施工・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	グリーン購入	品目/年	1,021	3%	1,052	811	×
	環境配慮施工	—	建設現場等において環境に配慮した施工や作業の推進に努める。			○	
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮及びサービスの改善	環境に配慮した業務推進	—	産業廃棄物の収集運搬・処分において環境に配慮した作業の推進に努める。			○	
	再資源化の推進	t/年	3,323	3%	3,423	7,648	○
地域貢献	件/年	1		1	1	○	

※ 購入電力の排出係数は、令和4年1月7日環境省・経済産業省公表、東北電力㈱の調整後排出係数 0.521kg-CO2/KWhです。

## VI. 環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の目標・取組内容

表4 環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の目標・取組内容

環境方針	環境目標項目	取組内容	実施状況の評価	取組結果	次年度の目標	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素排出量の削減	①社内の照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯する ②夜間、休日は、パソコン・プリンター等の主電源を切る ③使用してない部屋の空調は停止する	○	クールビズやウォームビズの促進によりエアコンの過度な温度設定を回避して省エネ稼働に努めることができた。	目標 2021年度比20%増 目標値 1,836,695(kwh/年)	クールビズ・ウォームビズの促進によるエアコンのエコ稼働を継続します。また目標は、新焼却炉の新設が予定されており、電気の消費量増加が見込まれる為、昨年同様と致します。
	車両用(建設機械)の燃料の二酸化炭素の削減	①エコドライブ等運転方法を励行する ②長時間のアイドリングをやめるように周知徹底させる ③道路情報の確認をし、余裕を持って出発 ④ドライブレコーダーの取り付けによる監視 ⑤低燃費型重機の利用 ⑥重機運転前運転後の点検実施	×	昨年同様に期中半ばまで大型の造成工事が有り、軽油の消費量が大幅に増加した為、目標には大きく届かなかつた。	目標 2021年度比1%削減 目標値 ガソリン 92,423(L/年) 軽油 1,181,500(L/年)	適正な目標値を設定し、無駄の無い使用方法で可能な限り少ない消費を目指す。
	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	①給湯器のムダ使いを無くす ②現場事務所でムダに暖房機器を付け過ぎない ③焼却施設更新による熱効率の上昇	×	LPGは目標をクリアできたが、灯油は目標をクリア出来ませんでした。焼却炉の稼働日数が昨年より増加したことが大きく影響しました。	目標 2021年度比1%削減 目標値 灯油 41,578(L/年) LPG 88(kg/年)	焼却炉以外の部分で、現場事務所に於ける灯油の節約に取り組みます。
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の発生抑制	①裏紙使用によるコピー用紙の使用量削減 ②電子媒体による帳票の閲覧又は周知 ③紙類は全てシュレッダーにかけ、再資源化を図る ④水切りによる生ごみの減量化 ⑤OA機器等の故障時には、可能な限り修理することで長期使用に努める	○	連絡を紙ベースから電子化に変更したこと。又新型コロナウイルスの影響によりお中元・お歳暮が減少し、結果的に紙等の一般廃棄物が減少した。	目標 2021年度比1%削減 目標値 3433(kg/年)	連絡及び決裁等に於いて、電子でのやり取りを加速させる。
	再資源化対策の推進	①リサイクル率の向上 ②マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理の徹底 ③建設廃棄物の分別徹底 ④3R・建設発生材の再資源化の推進 ⑤廃棄物発生量把握と削減目標の設定(維持管理)	×	環境に配慮した施工方法を検討し、建設副産物の再利用を100%達成する事ができたが、受託した産業廃棄物は、全て再資源化出来ず。	目標 建設副産物の再利用100%	現場で積極的な建設副産物の再利用及び電子マニフェストの利用促進に努めます。また受託した産業廃棄物のリサイクル率目標を改めて設定します。
水使用の適正管理	①手洗い時、洗い物においては日常的に節水を励行 ②洗車する場合は、泥等を落としてから行う ③洗車を必要最小限に、洗車は節水を励行 ④洗車ホースのストップバルブの利用 ⑤井戸水の有効利用	○	節水の呼び掛け、意識向上に努め、目標を達成する事が出来た。	目標 2021年度比1%削減 目標値 739(m³/年)	節水の促進を継続する	
化学物質使用量の削減	①塗料等の使用量の把握 ②SDSによるPRTR物質の把握 ③建設現場等における保管は、原則行わない ④漏洩防止対策の徹底	-	化学物質を取り扱う業務は有りませんでした。	法に則って適正に処理を致します	取扱いがあった場合には、適切な管理を徹底致します	
自らが施工・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	①グリーン購入の推進 ②再生材(再生砕石)の使用 ③低燃費・低音性能に優れた重機の使用 ④稼働効率の改善、待機時間の確認・見直し、 ⑤騒音・振動など環境に配慮した施工・作業	×	低燃費・低音性能に優れた建設機械を導入し、安全性、作業効率が上昇した。再生材の利用も継続出来ていた。グリーン購入の品目数は減った。	目標 燃費・操作性・低音性に優れた先端設備の導入促進	先端設備を導入し、現場での生産性向上に努める	
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮及びサービスの改善	①産業廃棄物のリサイクル化を促進 ②収集運搬車両の購入際、排ガスのレベル、燃費、リサイクル素材使用などを考慮している ③迅速な収集・運搬の徹底、効率的なルート選定 ④廃棄物の飛散防止・流出防止など環境に配慮した施設管理 ⑤処分施設、車両基地、収集運搬車両等の清潔保持	○	処理設備が順調に稼働し、産業廃棄物のリサイクル量を増量する事ができた。	目標 2021年度比1%増加 目標値(再資源化) 7,724(t/年)	産業廃棄物のリサイクル化促進を継続し、リサイクル化設備の充実を図ります	
地域貢献	①駒込川のボランティア清掃を行う ②地域道路清掃ボランティアに参加する ③環境美化運動の実施 ④ねぶた祭りへの積極的参加、地域イベント行事への協賛・交流	○	駒込川の清掃ボランティアは、新型コロナウイルスの感染状況により中止となったが、道路清掃活動に参加した。	駒込町会と一緒に駒込川の清掃ボランティアを行う。	新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、出来る範囲のボランティアに取り組みたい。	

○:評価出来る、△:まずまず評価できる、×:評価できない

購入電力の目標値は、焼却炉での使用量増加が見込まれる為、2021年度比20%増に設定致しました。



## 2. 環境活動の状況

### 環状野内線美化活動



### 火災訓練

本社



桐ノ沢処理センター



## VII 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

建設リサイクル法・廃棄物処理法等の環境関連法規等について遵守状況を確認したところ違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、訴訟等も受けておりません。苦情については2件発生しておりますが、適切に対応後水平展開し、同様の問題が発生しないよう対策を講じている。

## VIII 代表者による全体評価と見直しの結果

掲げた目標に対し残念ながら全て目標達成には至りませんでした。物理的に消費量の増加が避けられない箇所があったところもございます。目標を達成し、評価出来る部分ともう少し工夫が必要と思える部分が有ると思っております。

次年度に向けて、今年度定めた目標を達成する為の努力及び工夫を促進すると共に、目標を実状に即して適正に設定し、達成するよう努めて参ります。



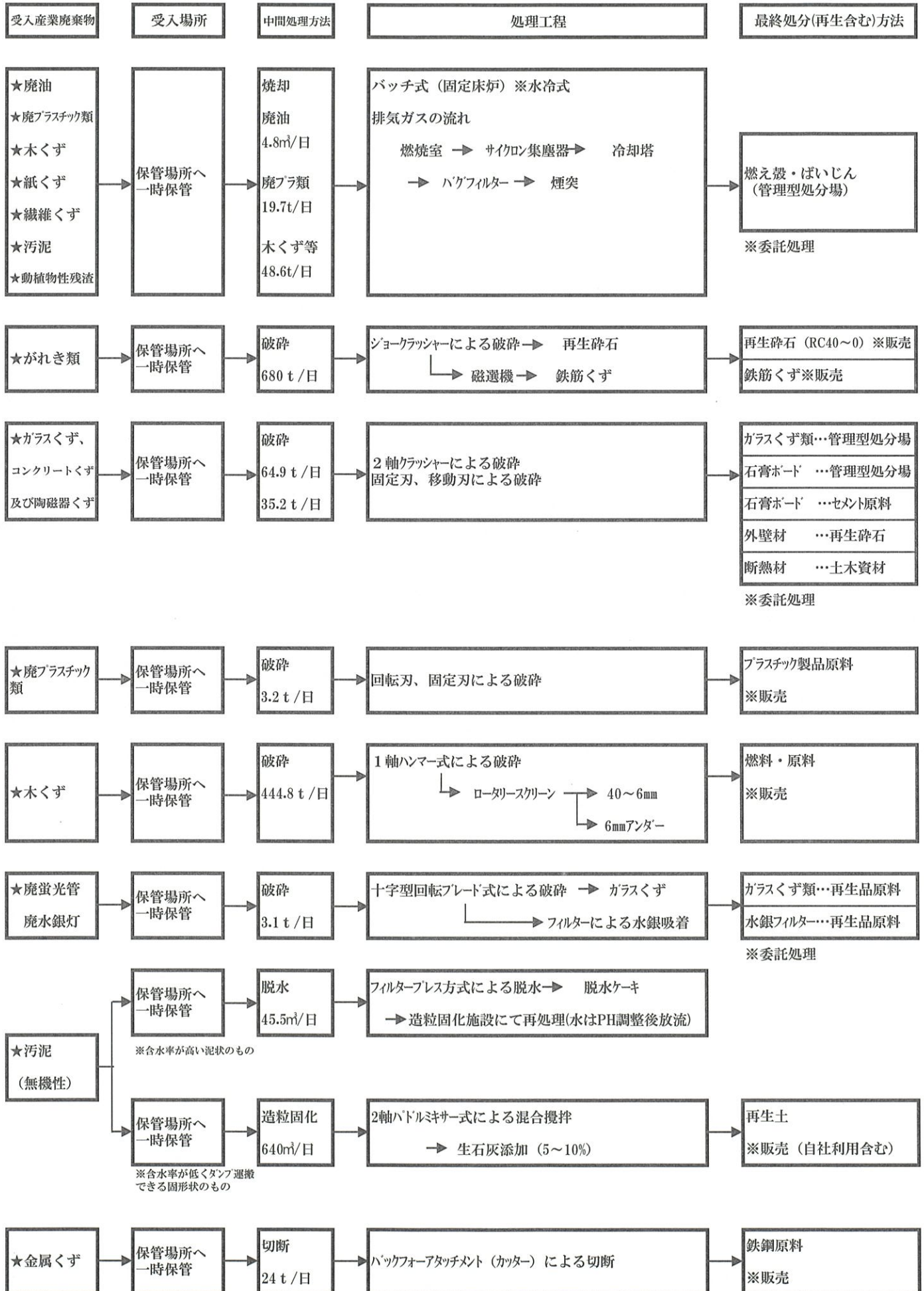
## Ⅹ 廃棄物処理に係る組織の概要

事業所名	株式会社 西田組 桐ノ沢処理センター			
代表者名	代表取締役社長 西田 文仁			
所在地	青森市大字駒込字桐ノ沢158番地			
環境管理責任者	千葉 康貴			
エコアクション21担当者	黒滝 卓也			
連絡先	電話	017-741-1915	ファクス 017-741-9324	
	E-mail	chiba@nishidagumi.co.jp		
	URL	http://www.nishidagumi.co.jp		
事業活動の内容	産業廃棄物の収集運搬及び処分、特別管理産業廃棄物収集運搬、一般廃棄物運搬			
事業の規模 (2020年)	品名	実績 (t)		
	収集運搬量	46339.76		
	処分量	61471.02		
	製造量	55025.38		
	最終処分量	2513.69		
許可の内容	許可名/許可番号	年月日		事業計画・事業の範囲(事業区分、廃棄物の種類)
	産業廃棄物収集運搬業(市) 第10812008968号	許可	平成30年6月29日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん(これらのうち、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除き、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く。) 積替え保管有り(汚泥、廃プラスチック類及び金属くず(消火器に限る。))【面積】3.78㎡【保管上限】1.176t、(汚泥)【面積】1.95㎡【保管上限】0.588t、(廃プラスチック類)【面積】1.008㎡【保管上限】0.0084t
		有効	令和5年5月12日	
	産業廃棄物収集運搬業(県) 第00200008968号	許可	平成30年11月19日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん(これらのうち、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除き、石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く。) 積替え保管無し
		有効	令和5年8月31日	
	特別管理産業廃棄物収集運搬業(市) 第10862008968号	許可	令和2年12月17日	廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、廃PCB等、PCB汚染物、廃石綿等、ばいじん、燃え殻、汚泥 積替え保管有り(感染性産業廃棄物に限る。)【面積】7.74㎡【保管上限】7.45㎡
		有効	令和9年11月26日	
	特別管理産業廃棄物収集運搬業(県) 第00250008968号	許可	令和3年1月14日	廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、廃PCB等、PCB汚染物、廃石綿等、ばいじん、燃え殻、汚泥 積替え保管無し
		有効	令和9年11月26日	
	産業廃棄物収集運搬業(いわき市) 第09400008968号	許可	平成29年6月15日	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず、がれき類、以上7種類(これらのうち特別管理産業廃棄物であるもの、自動車等破砕物、廃プリント配線板(鉛を含むはんだが使用されているものに限る。))、廃容器包装(固形状又は液状の物の容器又は包装であって不要物であるものをいう。)、鉛蓄電池の電極であって不要物であるもの、鉛製の管又は板であって不要物であるもの及び廃ブラウン管(側面部に限る。)を除き、廃石膏ボード及び石綿含有産業廃棄物を含む。) 積替え保管無し
		有効	令和4年6月14日	
	産業廃棄物収集運搬業(岩手県) 第00300008968号	許可	令和2年8月20日	汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ 積替え保管無し
		有効	令和7年8月19日	
	産業廃棄物処分量(市) 第10822008968号	許可	平成30年6月29日	【脱水】汚泥 【焼却】汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、動植物性残さ 【破砕】金属くず(廃蛍光管、廃水銀灯に限る。) 廃プラスチック類、木くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 【造粒固化】汚泥(無機性のものに限る。) 【切断】金属くず(これらのうち、自動車破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)
		有効	令和5年5月12日	
産業廃棄物処分量(県) 第00220008968号	許可	平成30年11月19日	【破砕】木くず、がれき類 【造粒固化】汚泥(無機性のものに限る。)(これらのうち、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	
	有効	令和5年8月31日		



設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数
	脱水施設	汚泥（無機性のものに限る。） 45.5m <sup>3</sup> /8h	1	12 t ダンプ	収集運搬	2
	焼却施設	廃油 4.8m <sup>3</sup> /8h 廃プラスチック類 19.7 t/8h 木くず等 48.6 t/8h	1	10 t ダンプ	収集運搬	1
	破砕施設 (E745-N-1000) (移動式：駐車場での稼働を含む)	木くず 444.8 t/8h	1	10 t ユニック	収集運搬	1
	破砕施設 (HC2410) (移動式)	木くず 616 t/8h	1	10 t ツカミ	収集運搬	1
	破砕施設 (KMC300) (移動式：駐車場での稼働を含む)	がれき類 680 t/8h	1	6 t ツカミ	収集運搬	2
	破砕施設 (LT60J-2) (移動式)	がれき類 376 t/8h	1	4 t ツカミ	収集運搬	1
	破砕施設 (ひまわりHR-200) (移動式)	がれき類 480 t/8h	1	6 t ユニック	収集運搬	1
	破砕施設 (KF-818A)	廃プラスチック類 3.2 t/8h	1	4 t ユニック	収集運搬	4
	破砕施設 (RPO-310J)	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず 64.9 t/8h	1	4 t ダンプ	収集運搬	2
	破砕施設 (BY15型)	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず 35.2 t/8h	1	2 tトラック	収集運搬	1
	破砕施設 (RDJ-55EJ)	廃プラスチック類金属くずガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（廃蛍光灯、廃水銀灯に限る。） 3.1 t/8h	1	2 t 箱型	収集運搬	1
				1 tトラック	収集運搬	1
	造粒固化施設 (SR-F1200) (移動式：駐車場での稼働を含む)	汚泥（無機性のものに限る。） 640m <sup>3</sup> /8h	1	普通自動車	営業車両	5
	切断施設 (KS700R-2)	金属くず 24 t/8h	1			
	バケツ		5			
	ツカミ		3			
	小割		1			
	スクリーン		1			
	マグネット		1			

# 処理方法・処理工程



# 受託した産業廃棄物の処理量

令和3年度（令和3年6月～令和4年5月）

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t	
収集運搬	燃え殻		115.98	
	汚泥		17125.92	
	廃プラスチック類		700.60	
	紙くず		29.51	
	木くず		1381.94	
	繊維くず		26.51	
	動・植物性残さ		0.20	
	金属くず		723.30	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず		1938.76	
	石膏ボード		261.65	
	がれき類		4059.88	
	コンクリート		16661.94	
	アスファルト		1674.71	
	ばいじん		5.11	
	安定型混合廃棄物		3.22	
	管理型混合廃棄物		1462.93	
	石綿含有廃棄物		135.24	
	廃油		15.34	
	水銀使用製品産業廃棄物		6.36	
	燃え殻 有害		0.00	
汚泥 有害	0.00			
感染性廃棄物	1.08			
廃石綿等	9.58			
収集運搬量合計			46339.76	
中間処理	汚泥	焼却・脱水・造粒固化	19221.93	
	廃油	焼却	17.19	
	廃プラスチック類	焼却・破碎	1292.41	
	紙くず	焼却	69.40	
	木くず	焼却・破碎	2524.24	
	繊維くず	焼却	124.59	
	動・植物性残さ	焼却	61.01	
	管理型混合廃棄物	焼却	1861.14	
	がれき類	破碎	6548.04	
	コンクリート	破碎	24415.08	
	アスファルト	破碎	2481.67	
	安定型混合廃棄物	破碎	0.39	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	破碎	1355.22	
	石膏ボード	破碎	386.46	
	金属くず	切断	1112.25	
	混合物	焼却	0.00	
	うち再資源化等	汚泥		19202.57
廃プラスチック類			90.78	
木くず			1135.14	
がれき類			6548.04	
コンクリート			24415.08	
アスファルト			2481.67	
ガラス・コンクリート・陶磁器くず			14.85	
金属くず			1112.25	
石膏ボード			25.00	
再資源化等量小計			55025.38	
中間処理合計			61471.02	
最終処分	燃え殻		1709.54	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず		799.71	
	ばいじん		4.44	
最終処分量合計			2513.69	
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	燃え殻	1528.14	
		ガラス・コンクリート・陶磁器くず	742.31	
		ばいじん	5.11	
	再資源化	汚泥		19202.57
		廃プラスチック類		90.78
		木くず		1135.14
		がれき類		6548.04
		コンクリート		24415.08
		アスファルト		2481.67
		ガラス・コンクリート・陶磁器くず		14.85
金属くず		1112.25		
石膏ボード		25.00		
再資源化等量小計		55025.38		
中間処理後処分量合計			57300.94	